

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
平成28年度第3回理事会 議事録

【開催日時】平成28年5月6日12時05分から13時30分まで

【開催場所】パシフィコ横浜 4階 会議室424

【出席した理事】田口敏彦、岩崎幹季、大川 淳、川上 守、島田洋一、
竹下克志、種市 洋、徳橋泰明、永島英樹、中村雅也、
根尾昌志、波呂浩孝、前田 健、山崎正志

【出席した監事】加藤文彦、松永俊二

【欠席した理事】中村博亮、山下敏彦

【議事の経過の要領及びその結果】

田口敏彦理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

審議・決議事項

入退会審査結果承認の件田口敏彦理事長が、資料1に基づき平成28年4月
度の入退会審査結果を示し、メンバーシップ・コンプライアンス委員会内
では全員が承認した旨の報告を行い、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、
全員一致でこれを承認可決した。

マイナンバー関連事項

田口敏彦理事長が、顧問弁護士の宗像先生が作成した資料2に基づきマイ
ナンバーについて当学会でも基本方針とより詳細な特定個人情報保護規程を
作成していく必要がある旨の報告を行い、議場に諮った。本件については、
定款等検討委員会にて詳細に確認することになった。

クリニカルフェロー施設追加承認の件

竹下克志理事が、追加募集を案内したクリニカルフェロー施設の件で、3件
の追加応募があったことを資料3に基づき報告した。3施設については、教
育研修委員会で書類を査収し、問題なかったとして議場に諮った。各理事は、
慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

新技術・新規医療機器関連の研修会開催に関する要望書

岩崎幹季理事が、「新技術・新規医療機器関連の研修会開催に関する要望書」の修正案を提示した。各理事は、慎重に審議し、全員一致で要望書の内容を承認した。

OLIF/XLIF の継続調査の件

岩崎幹季理事が、昨年実施した OLIF/XLIF の合併症調査について、倫理委員会等から継続調査すべきとの要望が寄せられたため、1年に一度後ろ向き調査を行っていきたいと提案した。また前回は WEB での登録であったが、今回も調査項目（資料5）を WEB で登録にする予定であるとの説明がなされた。OLIF/XLIF の合併症の継続調査を行うことについて、各理事は、慎重に審議し、全員一致で承認した。

その他

田口敏彦理事長が、英文誌編集委員会からの2つの議題について提起した。

『SSRR』の海外エディター候補と、候補者への依頼文の内容
資料6の内容を慎重に審議し、全員一致で承認した。

『SSRR』の表紙画像について

中村雅也理事から表紙の色合いが「レインボーカラー」を連想するとの指摘があった。欧米人に確認をすることとし、継続審議することとした。

審議・報告事項

副理事長・常務理事・専務理事について

田口敏彦理事長が、今回の役員会の業務執行理事について別添資料を示し報告した。副理事長に徳橋泰明理事、常務理事（庶務担当）に大川 淳理事、常務理事（財務担当）に山崎正志理事、専務理事（議事録担当）に川上 守理事、専務理事に島田洋一理事とすることが確定した。

各種委員会担当理事と委員長について

田口敏彦理事長が、確定した各種委員会の担当理事と委員長案を提示した。委員長については兼任不可であることと、現状示したものはあくまで案であ

るため、各担当理事が選出する委員のなかで互選して決めてほしいと依頼した。委員の選定については、5月末までには希望リストを作成し、理事長へ提出することになった。

その他

- ・各種委員会開催の件

7月の日整会骨軟部で理事会が予定されているため、いつもどおり各委員会を開催するか否かを今月中にメールで各担当理事に問い合わせるので回答してほしいとの連絡がなされた。

- ・各種委員会の引き継ぎの件

田口敏彦理事長から前任の各担当理事に新任のそれぞれの担当理事に引き継ぎするようメールで依頼することが報告された。また以前の理事会で決定した委員会活動における委員長・担当理事・事務局の役割等を各委員会へ送付するよう事務局に指示した。

- ・専門医問題集の件

波呂理事が、南江堂から脊椎脊髄外科専門医試験問題集の修正版ゲラ刷りを新役員に送付するので、5月末までに確認し問題があれば波呂理事まで連絡してほしいと依頼し、一同了解した。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成28年5月6日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 田口敏彦

監 事 加藤文彦

監 事 松永俊二